

令和 4 年 度 事 業 報 告

(自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 3 1 日)

I 事業及び収入・支出の概要

1. 事業活動の概要

- (1) 調査・研究事業については、研究会として「令和4年度農業・工業原材料生産と光技術研究会（第23回）」「第3回先端フォトンクス国際シンポジウム」「第19回光科学技術で拓く脳・精神科学平和探究研究会」を開催した。また光産業創成大学院大学に委託して、「レーザー科学技術の将来」を研究課題として調査研究を実施した。
- (2) 「晝馬輝夫 光科学賞」については、秀でた研究者1名を選出して、「晝馬輝夫 光科学賞」を授与して顕彰した。研究助成事業については、第1課題テーマ“光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について”及び第2課題テーマ“光科学技術による生命科学分野の先端研究”をもって広く公募し、当年度の新規助成として第1課題11件、第2課題13件、前年度の継続助成として第1課題14件、第2課題22件に対して研究資金の助成を行った。
- (3) 普及啓発事業については、毎年開催している「浜松コンファレンス」の第39回をアクトシティ浜松・中ホールで開催した。また、後日、財団webサイトにて講演動画を閲覧できるようにした。
- (4) 光科学技術関連分野の大学院博士後期課程学生を対象とした奨学金事業については、令和3年度および令和4年度採用奨学生に奨学金支給を行い、また令和6年度採用奨学生の募集・選考を行った。
- (5) 交流・協力事業については、他機関・団体の主催する事業にも協力した。

2. 事業活動における収入・支出の概要

- (1) 経常収益としては、浜松ホトニクス株式会社からの寄付金120,000千円、基本財産・特定資産の運用益52,857千円に事業収益、雑収益を合わせ、収益計として172,888千円であった。前年度に比し36,394千円増加した。
- (2) 経常費用については、事業費が176,387千円となり、前年度に比し49,670千円程の増加となった。増加の主な理由は、第3回先端フォトンクス国際シンポジウムおよび第19回光科学技術で拓く脳・精神科学平和探究研究会の両国際会議を開催したことによる。管理費については、19,645千円と前年度に比し999千円増となり、経常費用計は196,032千円であった。

3. 以上の結果、経常収益計172,888千円と経常費用計196,032千円との差△23,144千円が当期経常増減額となる。

II 年度末正味財産の状況

流動資産	47,030,672 円
固定資産	5,432,885,173 円
流動負債	5,729,722 円
固定負債	1,800,000 円
正味財産	5,472,386,123 円

III 事業活動の内容

1. 調査・研究事業（定款 第4条第1号関係）

① 研究会の開催

名 称	令和4年度農業・工業原材料生産と光技術研究会(第23回)
テ ー マ	農業の脱炭素化を目指した土壌機能の解明と光技術の応用
開 催 日	令和4年10月4日(火)
開催場所	ホテルクラウンパレス浜松
参加人数	120名(会場28名、ウェビナー92端末)

名 称	The 3rd International Symposium on Advanced Photonics (第3回先端フォトンクス国際シンポジウム)
テ ー マ	Next frontiers to be explored by advanced light source facilities (先端光源施設が拓く次なるフロンティア)
開 催 日	令和4年10月12日(水)～13日(木)
開催場所	オークラアクトシティホテル浜松
参加人数	40名

名 称	The Nineteenth Conference of Peace through Mind/Brain Science (第19回光科学技術で拓く脳・精神科学平和探究研究会)
開 催 日	令和5年2月21日(火)～23日(木)
開催場所	オークラアクトシティホテル浜松
参加人数	110名

② 委託調査研究

研究テーマ	レーザー科学技術の将来に関する調査研究
内 容	国内外最新のレーザーを用いた表面処理の動向と将来に関する調査
委 託 先	光産業創成大学院大学

2. 顕彰・研究助成事業（定款 第4条第2号関係）

(1) 晝馬輝夫 光科学賞

対 象 者	日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人で、応募締切時点で45歳未満の者。
応 募 件 数	9件（新規7件 繰越2件）
対象者数・金額	1名 副賞 5,000千円
受 賞 者	谷口 雄一 京都大学高等研究院 教授
研究テーマ	3次元1分子蛍光イメージング技術の開発

(2) 研究助成

募 集 課 題	第1課題 光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について 第2課題 光科学技術による生命科学分野の先端研究
応 募 件 数	第1課題 40件 第2課題 59件
助成件数・金額	第1課題 11件 第2課題 13件 総額 33,000千円
前年度継続分の助成件数・金額	第1課題 14件 第2課題 22件 総額 17,000千円

(3) 募集案内

国立・公立・私立大学の理・工・医の学部、関係研究科、研究機関等 341 施設に対し、応募要項・ポスターを直接送付、また学会誌及びホームページ等に公告を掲載し、広く募集を行った。

(4) 入選者の決定

各審査委員による個別選考を行ったのち、審査委員会及び理事会における審議を経て入選者を決定した。

3. 普及啓発事業（定款 第4条第3号関係）

浜松コンファレンスの開催

名 称	第39回浜松コンファレンス— 新しい文化論
内 容	光科学技術に関する普及啓発活動の一環として、文化の日に開催した。光に関する最先端科学の講演と芸術（音楽演奏）鑑賞を通して、新しい文化について一般市民の参加者と考えることを目的としている。 挨拶：晝馬 明 公益財団法人 光科学技術研究振興財団理事長 音楽：ヴァイオリン×ピアノ デュオコンサート 南 紫音（ヴァイオリン） 沼沢 淑音（ピアノ） 講演：「睡眠の謎に挑む—『眠気』の実体を求めて—」 柳沢 正史 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長
開催日	令和4年11月3日（木）
開催場所	浜松市／アクトシティ浜松・中ホール
参加人数	350名

4. 奨学金事業（定款 第4条第4号関係）

令和3年度および令和4年度採用奨学生に奨学金を支給した。また令和6年度採用奨学生の募集については、募集要項のホームページ掲載、指定大学院14校への直接送付を行い、応募4名より採用内定3名と補欠1名の選考を行った。

5. 交流・協力事業（定款 第4条第5号関係）

レーザーによるものづくり中核人材育成講座事業（光産業創成大学院大学）への協力として協力金を負担した。

IV 寄附金の受け入れ

運用財産として浜松ホトニクス株式会社から120,000千円の寄附金を受け入れた。

V 届出・申請

年 月 日	内 容	提 出 先
令和4年6月22日	先端フォトニクス国際シンポジウム (第3回) 後援名義使用許可申請	浜松市
令和4年6月23日	令和3年度事業報告等の提出	内閣府
令和4年7月22日	変更届出書(理事、評議員)提出	内閣府
令和4年9月21日	第39回浜松コンファレンス後援名義 使用許可申請	浜松市 浜松商工会議所 浜松・浜名湖ツーリズムビ ューロー
令和5年1月12日	光科学技術で拓く脳・精神科学平和探 究研究会(第19回)後援名義使用許可 申請	浜松市 浜松商工会議所 浜松・浜名湖ツーリズムビ ューロー
令和5年3月23日	令和5年度事業計画書等の提出	内閣府

VI 理事会・評議員会等会議

理事会・評議員会・審査委員会を次のとおり開催し、それぞれ上程の議案が承認・可決された。

開催日・場所	会 議	議 案
令和4年5月20日 東京/如水会館 Web会議併用	令和4年度第1回理事会	・平成3年度事業報告・決算承認、他
令和4年6月10日 浜松/オークラアクト シティホテル浜松 Web会議併用	令和4年度第1回(定時) 評議員会	・平成3年度事業報告、決算承認、他
令和4年6月17日	令和4年度臨時理事会 (みなし会議)	・理事長、常務理事の選定
令和4年12月8日 東京/常盤橋タワーコ ンファレンスルームC Web会議併用	令和4年度審査委員会	・令和4年度晝馬輝夫光科学賞選考 ・令和4年度研究助成選考 ・令和3年度助成の研究者に対する 継続助成選考
令和4年12月8日 東京/常盤橋タワーコ ンファレンスルームC Web会議併用	令和4年度第2回理事会	・令和4年度晝馬輝夫光科学賞決定 ・令和4年度研究助成決定 ・令和3年度助成の研究者に対する 継続助成決定、他
令和5年3月7日 浜松/ホテルクラウン パレス浜松 Web会議併用	令和4年度第3回理事会	・令和5年度事業計画・予算承認、他
令和5年3月8日 浜松/ホテルクラウン パレス浜松 Web会議併用	令和4年度第2回評議員 会	・令和5年度事業計画・予算承認、他